

今回は、「よくある社員の間違い行動」という小冊子からです。

## ダラダラ残業してしまう

あなたは、毎日何時に退社しているだろうか？いろいろな会社に出向くことがあるが、21 時や 22 時まで残業している会社がよくある。時には 23 時や終電が当たり前という会社もある。

もちろん会社が急成長中で、お客様が増え続け、人材の採用が会社に追いつかない。そんな会社も稀にある。しかし、ほとんどの会社では、そんな感じはないのだ。

べちゃくちゃ、べちゃくちゃ話しをしていたり、喫煙室に行ったつきり 15 分も 20 分も戻らなかったり、ず〜とパソコンに向かって 10 分で終わる日報に 1 時間も 2 時間もかけていたり、書類作成が遅々として進まなかったり、そんな具合なのである。

「もっとやり方はないの？」そう聞くと必ず帰ってくる答えが「これが普通ですから・・・」早く帰ろうとさえ思っていないこともある。そういう考えでは早く帰れるはずがない。

一方で、今日は親しい友人と久しぶりに会う。8 時に待ち合わせた。そんな時は不思議と 7 時 30 分に終わってしまう。毎週土曜日に出社して、残った仕事を片付ける習慣になっている人が、今週の週末は旅行に行く。何としても金曜日までに終わらせないと・・・。そう思って毎日過ごしただけで、金曜日に仕事が終わってしまう。そんなことがよくある。なぜだろうか？

ダラダラ残業が長引いてしまう理由はいろいろあるが、まず早く帰ろうという強い意思をもつことが大切である。そのために私がすすめているのは、プライベートスケジュールリングである。プライベートでやりたいことを、先に決めてしまうものだ。仕事の残った時間でプライベートを楽しもうとするから、「まあ仕方ないか？」といつもダラダラしてしまう。あなたが来週会いたい人は？やりたい趣味は？読みたい本は？見たい映画やテレビは？(よっぽどでないこと以外は録画をしない) そのスケジュールを先に組んでしまおう！遅くとも前の週には、あなたの手帳の、平日の夜の時間と、週末の時間に予定が書き込まれていなければならないのだ。そして、それを現実できるように毎日毎日の仕事をやり残さず、緊張感をもって取り組むのだ。ぜひ、試して見て欲しい。

いつまでも残業している会社はどんな感じですか？

( )

「もっとやり方はないの？」そう聞くと必ず帰ってくる答えは何ですか？

( )

ダラダラ残業が長引いてしまう理由はいろいろあるが、まずどんな意思が大切と言ってますか？

( )

著者が進めているのは何スケジュールリングですか？

( )